

2007年7月25日

藤岡町長 永島源作 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会
取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書の提出（第2次）について

当会は、昨年12月4日、貴職に対し、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を提出致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、本日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書原本を提出致します。これにより、全国から寄せられた署名の数は合計15,476名となりました。

2008年10月28日からの韓国・昌原市でのラムサール条約第10回締約国会議（COP10）は1年³ヶ月後に迫ってまいりましたが、地元2市4町におかれましては、全国の多くの市民から渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望が寄せられていることにご配慮頂き、COP10での渡良瀬遊水池の条約登録を目指して、環境省、国道交通省への要請等、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録に向けた取組みをご推進頂きますようお願い申し上げます。

尚、本日、要望書の原本を貴職に提出したことは、渡良瀬遊水池が所在する他の2市3町の各首長に通知するとともに、環境大臣、国土交通大臣に対しても報告し、登録促進の要請を行う予定です。

2007年7月25日

環境大臣 若林正俊 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



要 請 書

谷中村の遺跡を守る会以下の渡良瀬遊水池の保全に関わってきたNGOは、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書に賛同される方の署名活動を行うため、「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」を組織して、2006年春より署名活動を行い、2006年12月4日、第1次提出分として、7,884名(地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名)の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、本日、第2次提出分として、7,592名(2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名)の署名による要望書を藤岡町長に提出し、署名者の数は第1次、第2次提出分合計15,476名に達しました。

要望書に記載してありますように、この署名活動は、2008年10月28日から韓国・昌原市で開催されるラムサール条約第10回締約国会議(COP10)において、渡良瀬遊水池を条約登録することを目指すものであり、そのCOP10は1年3ヶ月後に迫ってまいりました。

日本最大の遊水池であり、ヨシ原の広さでは本州以南では最大、多くの絶滅危惧種(鳥類25種、植物49種、昆虫9種)の生息地となっており、条約の登録基準を充たしているの

は勿論、国内においては重要度が極めて高い渡良瀬遊水池を、1993年釧路で開催されたCOP5から実に15年ぶりに東アジアで開催されるCOP10において条約登録することの意義の大きさは言うまでもありません。

また、2006年の生物多様性条約COP8で設定された2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させるという目標（2010年目標）や2005年のラムサール条約COP9で設定された当時約1600ヶ所の条約湿地を2010年までに2500ヶ所に増加させるという目標を達成させるためには、わが国において、野生生物の宝庫であり重要度が極めて高い渡良瀬遊水池を条約登録することが不可欠です。

遊水池という湿地は、洪水調節や野生生物の生息地という湿地の機能を両立させることによって、ラムサール条約が掲げる湿地の賢明な利用という理念を実現する好適地であり、わが国は、ラムサール条約の締約国として、国際的に重要な湿地である渡良瀬遊水池を条約登録し、治水と生物多様性が両立する賢明な利用を実現する責務を負っています。

今回の15,476名の署名者による要望書は、地元2市4町に対し、渡良瀬遊水池の条約登録を実現するために2市4町から環境省をはじめ国に対する働きかけを要望するものですが、署名者が最終的に希望していることは、わが国が、ラムサール条約締約国として、渡良瀬遊水池を条約登録し、渡良瀬遊水池の賢明な利用を実現することに他なりません。

ラムサール条約を所管される環境省におかれましては、この全国から寄せられた署名者の希望をお汲み取り頂き、河川区域として渡良瀬遊水池を所管する国土交通省とも緊密に連携して、是非、2008年のラムサール条約COP10までに渡良瀬遊水池の条約登録を実現頂きますようお願い致します。

2007年7月25日

国土交通大臣 冬柴 鐵 三 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野 正 富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



要 請 書

谷中村の遺跡を守る会以下の渡良瀬遊水池の保全に関わってきたNGOは、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書に賛同される方の署名活動を行うため、「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」を組織して、2006年春より署名活動を行い、2006年12月4日、第1次提出分として、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、本日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書を藤岡町長に提出し、署名者の数は第1次、第2次提出分合計15,476名に達しました。

要望書に記載してありますように、この署名活動は、2008年10月28日から韓国・昌原市で開催されるラムサール条約第10回締約国会議（COP10）において、渡良瀬遊水池を条約登録することを目指すものであり、そのCOP10は1年3ヶ月後に迫ってまいりました。

日本最大の遊水池であり、ヨシ原の広さでは本州以南では最大、多くの絶滅危惧種（鳥類25種、植物49種、昆虫9種）の生息地となっており、条約の登録基準を充たしているの

は勿論、国内においては重要度が極めて高い渡良瀬遊水池を、1993年釧路で開催されたCOP5から実に15年ぶりに東アジアで開催されるCOP10において条約登録することの意義の大きさは言うまでもありません。

また、2006年の生物多様性条約COP8で設定された2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させるという目標（2010年目標）や2005年のラムサール条約COP9で設定された当時約1600ヶ所の条約湿地を2010年までに2500ヶ所に増加させるという目標を達成させるためには、わが国において、野生生物の宝庫であり重要度が極めて高い渡良瀬遊水池を条約登録することが不可欠です。

遊水池という湿地は、洪水調節や野生生物の生息地という湿地の機能を両立させることによって、ラムサール条約が掲げる湿地の賢明な利用という理念を実現する好適地であり、わが国は、ラムサール条約の締約国として、国際的に重要な湿地である渡良瀬遊水池を条約登録し、治水と生物多様性が両立する賢明な利用を実現する責務を負っています。

今回の15,476名の署名者による要望書は、地元2市4町に対し、渡良瀬遊水池の条約登録を実現するために2市4町から環境省をはじめ国に対する働きかけを要望するものですが、署名者が最終的に希望していることは、わが国が、ラムサール条約締約国として、渡良瀬遊水池を条約登録し、渡良瀬遊水池の賢明な利用を実現することに他なりません。

河川区域として渡良瀬遊水池を所管する国土交通省におかれましては、この全国から寄せられた署名者の希望をお汲み取り頂き、ラムサール条約を所管する環境省とも緊密に連携して、是非、2008年のラムサール条約のCOP10までに条約登録を実現頂きますよう要請致します。

2007年7月25日

小山市長 大久保寿夫 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書の提出（第2次）について

当会は、昨年12月4日、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致し、貴職に対しその旨ご通知致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、本日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書原本を藤岡町長に提出致しましたので、本書を以ってご通知致します。これにより、全国から寄せられた署名の数は合計15,476名となりました。

2008年10月28日からの韓国・昌原市でのラムサール条約第10回締約国会議（COP10）は1年3ヶ月後に迫ってまいりましたが、地元2市4町におかれましては、全国の多くの市民から渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望が寄せられていることにご配慮頂き、COP10での渡良瀬遊水池の条約登録を目指して、環境省、国土交通省への要請等、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録に向けた取組みをご推進頂きますようお願い申し上げます。

尚、本日、環境大臣、国土交通大臣に対しても登録促進の要請を行ったことを、併せて報告致します。

2007年7月25日

古河市長 白戸 仲久 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野 正 富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書の提出（第2次）について

当会は、昨年12月4日、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致し、貴職に対しその旨ご通知致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、本日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書原本を藤岡町長に提出致しましたので、本書を以ってご通知致します。これにより、全国から寄せられた署名の数は合計15,476名となりました。

2008年10月28日からの韓国・昌原市でのラムサール条約第10回締約国会議（COP10）は1年3ヶ月後に迫ってまいりましたが、地元2市4町におかれましては、全国の多くの市民から渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望が寄せられていることにご配慮頂き、COP10での渡良瀬遊水池の条約登録を目指して、環境省、国土交通省への要請等、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録に向けた取組みをご推進頂きますようお願い申し上げます。

尚、本日、環境大臣、国土交通大臣に対しても登録促進の要請を行ったことを、併せご報告致します。

2007年7月25日

野木町長 永田元一殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書の提出（第2次）について

当会は、昨年12月4日、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致し、貴職に対しその旨ご通知致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、本日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書原本を藤岡町長に提出致しましたので、本書を以ってご通知致します。これにより、全国から寄せられた署名の数は合計15,476名となりました。

2008年10月28日からの韓国・昌原市でのラムサール条約第10回締約国会議（COP10）は1年3ヶ月後に迫ってまいりましたが、地元2市4町におかれましては、全国の多くの市民から渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望が寄せられていることにご配慮頂き、COP10での渡良瀬遊水池の条約登録を目指して、環境省、国土交通省への要請等、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録に向けた取組みをご推進頂きますようお願い申し上げます。

尚、本日、環境大臣、国土交通大臣に対しても登録促進の要請を行ったことを、併せて報告致します。

2007年7月25日

北川辺町長 倉上皖教殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書の提出（第2次）について

当会は、昨年12月4日、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致し、貴職に対しその旨ご通知致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、本日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書原本を藤岡町長に提出致しましたので、本書を以ってご通知致します。これにより、全国から寄せられた署名の数は合計15,476名となりました。

2008年10月28日からの韓国・昌原市でのラムサール条約第10回締約国会議（COP10）は1年3ヶ月後に迫ってまいりましたが、地元2市4町におかれましては、全国の多くの市民から渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望が寄せられていることにご配慮頂き、COP10での渡良瀬遊水池の条約登録を目指して、環境省、国道交通省への要請等、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録に向けた取組みをご推進頂きますようお願い申し上げます。

尚、本日、環境大臣、国土交通大臣に対しても登録促進の要請を行ったことを、併せご報告致します。

2007年7月25日

板倉町長 針ヶ谷照夫 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書の提出（第2次）について

当会は、昨年12月4日、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致し、貴職に対しその旨ご通知致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、本日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書原本を藤岡町長に提出致しましたので、本書を以ってご通知致します。これにより、全国から寄せられた署名の数は合計15,476名となりました。

2008年10月28日からの韓国・昌原市でのラムサール条約第10回締約国会議（COP10）は1年3ヶ月後に迫ってまいりましたが、地元2市4町におかれましては、全国の多くの市民から渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望が寄せられていることにご配慮頂き、COP10での渡良瀬遊水池の条約登録を目指して、環境省、国土交通省への要請等、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録に向けた取組みをご推進頂きますようお願い申し上げます。

尚、本日、環境大臣、国土交通大臣に対しても登録促進の要請を行ったことを、併せご報告致します。

2007年7月31日

栃木県知事 福田 富 一 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



要 請 書

谷中村の遺跡を守る会以下の渡良瀬遊水池の保全に関わってきたNGOは、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書に賛同される方の署名活動を行うため、「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」を組織して、2006年春より署名活動を行い、2006年12月4日、第1次提出分として、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、2007年7月25日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書を藤岡町長に提出し、署名者の数は第1次、第2次提出分合計15,476名に達しました。

要望書に記載してありますように、この署名活動は、2008年10月28日から韓国・昌原市で開催されるラムサール条約第10回締約国会議（COP10）において、渡良瀬遊水池の条約登録を目指すものであり、そのCOP10は1年3ヶ月後に迫ってまいりました。地元4県におかれましても、COP10での渡良瀬遊水池の登録推進にお取り組み頂きますよう要請致します。

尚、藤岡町長に要望書を提出した際の書面の写と、環境大臣、国土交通大臣への要請書写を参考に同封させていただきます。

2007年7月31日

群馬県知事 大澤 正 明 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野 正 富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



要 請 書

谷中村の遺跡を守る会以下の渡良瀬遊水池の保全に関わってきたNGOは、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書に賛同される方の署名活動を行うため、「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」を組織して、2006年春より署名活動を行い、2006年12月4日、第1次提出分として、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、2007年7月25日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書を藤岡町長に提出し、署名者の数は第1次、第2次提出分合計15,476名に達しました。

要望書に記載してありますように、この署名活動は、2008年10月28日から韓国・昌原市で開催されるラムサール条約第10回締約国会議（COP10）において、渡良瀬遊水池の条約登録を目指すものであり、そのCOP10は1年3ヶ月後に迫ってまいりました。地元4県におかれましても、COP10での渡良瀬遊水池の登録推進にお取り組み頂きますよう要請致します。

尚、藤岡町長に要望書を提出した際の書面の写と、環境大臣、国土交通大臣への要請書写を参考に同封させていただきます。

2007年7月31日

茨城県知事 橋本 昌 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



要 請 書

谷中村の遺跡を守る会以下の渡良瀬遊水池の保全に関わってきたNGOは、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書に賛同される方の署名活動を行うため、「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」を組織して、2006年春より署名活動を行い、2006年12月4日、第1次提出分として、7,884名（地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名）の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、2007年7月25日、第2次提出分として、7,592名（2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名）の署名による要望書を藤岡町長に提出し、署名者の数は第1次、第2次提出分合計15,476名に達しました。

要望書に記載してありますように、この署名活動は、2008年10月28日から韓国・昌原市で開催されるラムサール条約第10回締約国会議（COP10）において、渡良瀬遊水池の条約登録を目指すものであり、そのCOP10は1年3ヶ月後に迫ってまいりました。地元4県におかれましても、COP10での渡良瀬遊水池の登録推進にお取り組み頂きますよう要請致します。

尚、藤岡町長に要望書を提出した際の書面の写と、環境大臣、国土交通大臣への要請書写を参考に同封させていただきます。

2007年7月31日

埼玉県知事 上田清司 殿

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

取り扱い団体

谷中村の遺跡を守る会

小山の環境を考える市民の会

渡良瀬の環境を考える会

田中正造大学

日本野鳥の会栃木県支部

日本野鳥の会埼玉県支部

ラムサール条約湿地を増やす市民の会

(事務局) 栃木県小山市神鳥谷1丁目6番19号

浅野正富法律事務所

弁護士 浅野正富

TEL 0285-25-6577

FAX 0285-25-6627



要 請 書

谷中村の遺跡を守る会以下の渡良瀬遊水池の保全に関わってきたNGOは、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書に賛同される方の署名活動を行うため、「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」を組織して、2006年春より署名活動を行い、2006年12月4日、第1次提出分として、7,884名(地元2市4町の住民2,175名、その他の地域の住民5,709名)の署名を添えて、渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための要望書を藤岡町長に提出致しました。

その後も、街頭署名活動等によって、渡良瀬遊水池のラムサール条約登録の早期実現を願う方々から署名を集め、2007年7月25日、第2次提出分として、7,592名(2市4町の住民1,691名、その他の地域の住民5,901名)の署名による要望書を藤岡町長に提出し、署名者の数は第1次、第2次提出分合計15,476名に達しました。

要望書に記載してありますように、この署名活動は、2008年10月28日から韓国・昌原市で開催されるラムサール条約第10回締約国会議(COP10)において、渡良瀬遊水池の条約登録を目指すものであり、そのCOP10は1年3ヶ月後に迫ってまいりました。地元4県におかれましても、COP10での渡良瀬遊水池の登録推進にお取り組み頂きますよう要請致します。

尚、藤岡町長に要望書を提出した際の書面の写と、環境大臣、国土交通大臣への要請書写を参考に同封させていただきます。

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための 要 望 書

藤岡町長 様 古河市長 様
小山市長 様 板倉町長 様
野木町長 様 北川辺町長 様

渡良瀬遊水池は日本最大の遊水池です。この遊水池は、明治時代に足尾鉍毒事件のため、谷中村を犠牲にしてつくられたものですが、長い年月を経て、本州最大の面積を有するヨシ原となり、湿地の生物たちの宝庫となっています。

現在ここでは、230種以上の鳥類、700種以上の植物、また1600種以上の昆虫（各々の絶滅危惧種は25、49、9種）が記録されていて、全国的にも世界的にも貴重な湿地です。

こうした渡良瀬遊水池のかけがえのない湿地の生態系をより積極的に保全するためには、尾瀬のように、渡良瀬遊水池をラムサール条約（国際的に重要な湿地に関する条約）の登録湿地に指定して必要な対策を講じることが求められています。

遊水池の地元市町におかれましては次回（2008年）のラムサール条約締約国会議で渡良瀬遊水池がラムサール条約登録湿地に指定されるよう、環境省に対して要請されることを要望します。

氏 名	住 所

2007年 月 日

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会
取り扱い団体 ラムサール条約湿地を増やす市民の会
連絡先 〒323-0034 栃木県小山市神鳥谷1-6-19 浅野正富

（署名後の本要望書は藤岡町長に提出し、小山市長、野木町長、古河市長、板倉町長、北川辺町長にはその提出を行ったことを通知します。）

なお、この署名は、個人情報を保護するため、目的以外には使用しません。